

横浜市立間門小学校 平成31年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○「確かな学力の向上」「様々な連携の推進による学校力の向上」「新たな教育課題への積極的取組」を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創造的な教育活動を推進していくと共に、本校の特色である健康教育の実践を通して「自ら考え、ともに学び合う子ども」を育てます。</li> <li>・PTA や地域と連携・協働してきた活動を継続的に推進し、家庭及び地域の教育力を積極的に活用して、学校力の更なる向上を図ります。</li> <li>・「横浜の目指す教育の姿」を踏まえて設定した〔知〕〔徳〕〔体〕〔公〕〔開〕の目標を達成するために、教育活動全般において工夫・改善を図り、健やかで明るく、活力のある「まかどっ子」を育てます。</li> </ul>	

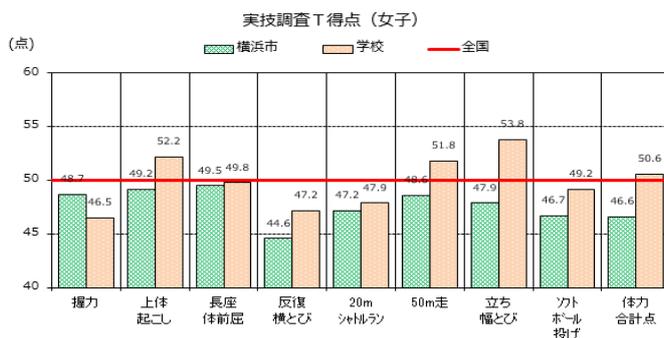
(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組 重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	基本的な生活習慣の確立や主体的に運動に取り組む子ども育成を図り、生涯にわたって健康づくりや体力向上に進んで取り組めるようにする。	①「すこやか活動」を中心に、健康・体育に関する活動を学校生活の中に位置づけ、教育活動全体を通して生涯体育につながる子どもの育成に取り組む。 ②体育学習の充実を図り、運動する楽しさや競い合う楽しさ、学び合う楽しさを味わうことを通して、運動好きな子どもを育てる。
担当	すこやか委員会	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態（全国体力・運動能力、運動習慣など調査報告書より）

- ・全国平均と比べて、朝食の摂取率が高く、毎日食べている子どもがほとんどである。また、睡眠時間についても、長く睡眠をとっている子どもが多い。
- ・運動に関心がある子どもは多いが、体育授業以外の運動に関わる時間や回数は市平均より低い。放課後に、体を動かす習慣が身に付いているとは言えない。
- ・1校1実践運動の取組の様子をみると、健康や運動に関して楽しみながら関わろうとする子どもが多い。主体的に関わろうとする意識が高まってきている。

(2) 体力の概要と要因の分析（全国体力・運動能力、運動習慣など調査報告書より）



毎年、多くの種目において、市の平均を上回ることができている。

また、運動することの大切さや楽しさを味わうことができている子どもの割合が高まってきている。入学してから、卒業するまでに、すこやかタイムをはじめとしたすこやか活動が子どもたちの体力の高まりに大きく寄与しているといえることができる。

### 3 体育・健康に関する具体的取組

#### 教科

##### 《体育科・保健体育科での取組》

- ・体育科・保健体育科は、本校の重点研究に位置付けられており、秋に行われる健康教育発表会を中心として、市内外に発信をしている。運動領域では、器械運動やボール運動、陸上運動を取り上げ、子どもが友達との学び合いを生かしながら、本気に取り組む授業づくりを目指していく。また、保健領域では、実体験を単元に取り入れ、より自分事として捉えながら学習を進めていけるようにしていく。このような学習を支える教師の手立ての在り方を年7回の授業を伴う研究会を通して、研究を深めていく。

##### 《他教科での取組》

- ・家庭科では、食教育との関連を図りながら学習を進めていく。栄養教諭に関わってもらい、子どもの学習理解を深めるようにする。
- ・国語科では、話す・聞く活動を学習の中に日常的に位置づけ、自分の考えを豊かに表現できるようにする。

#### 道徳・特活・総合

- ・運動会では、自分のもっている運動能力を体全体で表現し、運動に主体的に取り組む子どもを育てていく。また、学級や学年、同色で協力して取り組む活動を通して、協働的に学習を進めるよさを味わえるようにする。
- ・生活科や総合的な学習の時間においては、子ども自らが主体的に学習を進められるように、教材の選定や提示の仕方を工夫し、自らの考えを積極的に表現し、課題を解決していきけるようにする。
- ・食育については、栄養教諭との連携を図りながら、月1度のすこやかテレビの中で、ワークシートを活用した取り組みを進め、計画的に学習ができるようにする。
- ・道徳においては、人権教育を全学年で必ず取り組むようにし、体育科における学び合うことと合わせて、子どもの態度を育てていくようにする。
- ・すこやか委員会では、間門小の健康面での課題について、なかよし学年で協力しながら活動を進めていく。

#### 課外活動

- ・週2回の中休みを活用した「すこやかタイム」の実施
- ・昼食後の歯磨き活動の継続
- ・7月の個人面談等を利用した体力テストの結果や保健情報等の家庭との共有

#### 平成31年度 間門小学校 体力向上1校1実践運動

<名称>すこやか活動

<ねらい>体育・健康に関する活動を学校生活の中に日常的に位置付け、教育活動全体を通して取り組むことで、子どもが生涯を通じて運動を日常生活の中に積極的に取り入れ、生活の重要な一部にしようとする姿勢を育てる。

- <内容>
- ・4年生以上の学級代表が参加する「すこやか委員会」を毎月1回開催し、学校における健康や安全に関わる課題について、話し合いを通してその解決に向けて取り組む。
  - ・毎月第2月曜日のテレビ朝会に引き続き「すこやかテレビ」を行い、季節や時期に応じた健康に関する情報を子どもに提供する。また、「すこやかテレビ」の後の「ぱくぱくチャレンジ」では、栄養教諭が子どもの実態に応じた食育を進める。
  - ・火・金曜日の週2回、中休みの1モジュールを使って「すこやかタイム」を行い、体を動かす遊びや体力づくりに取り組む。
  - ・「すこやか委員会」での話し合いをもとに、年3回「学校すこやか委員会」を行い、子ども・保護者・職員・学校医が、健康に関する提案を行う。

●指標： 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による経年変化の比較